

2025 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2025 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「文学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・学域	志願者数	1 次合格者数	最終合格者数
人文学科 人間研究学域	0	8	0
人文学科 日本文学研究学域	1		1
人文学科 日本史研究学域	4		1
人文学科 東アジア研究学域	3		2
人文学科 国際文化学域	2		1
人文学科 地域研究学域	0		0
人文学科 国際コミュニケーション学域	3		3
人文学科 言語コミュニケーション学域	1		0
計	14	8	8

【スポーツ】

学科・学域	志願者数	1 次合格者数	最終合格者数
人文学科 人間研究学域	7	16	4
人文学科 日本文学研究学域	1		1
人文学科 日本史研究学域	0		1
人文学科 東アジア研究学域	1		1
人文学科 国際文化学域	1		1
人文学科 地域研究学域	3		4
人文学科 国際コミュニケーション学域	1		1
人文学科 言語コミュニケーション学域	2		3
計	16	16	16

※ 志願者は出願時に 8 つの学域から志望する学域を 4 つ選択し、志望順位をつけて出願する。上記の各学域の志願者数は第 1 志望として当該学域を選択した志願者数である。

※ 合格者の学域は、最終合格発表時に決定する。

2. 試験内容

口頭試問では、人間と社会が抱える諸問題に対する広い関心を背景として、志望する学域・専攻において自分自身が学びたいと思っていることについて問いました。

3. 出題意図

受験生の自主性を前提としつつ、人文学を学ぶために必要な基礎学力を確認するためのものです。

4. 評価ポイント

以下の点が評価ポイントとなります。

- (1) 学域・専攻における学びの内容を調べていること。
- (2) 論理的、かつ具体的に説明できること。

5. 解答状況

各自が志望する学域・専攻の学びの内容をよく調べ把握した上で、学びたいと思っていることを具体的に解答してくれていました。ただし、学域・専攻の学びの内容に関する調査が十分ではない解答（中には、志望する専攻とは別の専攻の説明をしている場合もありました）や、人文学を学ぶ意思が具体化・内実化できていない解答も見られました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

文学部では、以下のような学生を求めていきます（アドミッション・ポリシー）。このことをよく理解して、受験に臨んでください。

- (1) 人文学の分野・領域に対して深い関心と探究心を持つ者
- (2) 人文学を学ぶために必要な基礎学力を有する者
- (3) 学域・専攻での学びを通して幅広い知識と豊かな表現力を身につけて、人間と社会が抱える諸問題を主体的に追求・解決しようとする意欲を持つ者

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

進路指導に当たって、以下の点について御指導いただきたく思います。

- (1) 高等学校における正課の学習はもちろん、正課外の実践（読書、芸術鑑賞、フィールドワーク等）も含めて、幅広く柔軟な知的関心を持つ。
- (2) 文学部及び各学域・専攻のホームページやオープンキャンパス等を通じて、文学部が扱う領域の広さ、各学域・専攻の学びの内容を十分理解する。

以上